

箱根組ニュース

第293号 2017年 4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

春の口差しの中、日の出山から麻生山の尾根を歩き、白岩の滝からの美しい渓流を下る。

3月19日（日）、新宿駅6時46分発のホリデー快速あきがわ1号武蔵五日市行きに乗車。

武蔵五日市駅に7時55着。降り立ったのは川名、神山、奥村、和田、星野親子、西川、神吉、戸丸の9名。

8時22分発の上養沢行きバスに乗車。十数名乗りの可愛い小さなバスで狭い山道に入ってゆく。

8時50分頃、上養沢終点着。バス停の横で各々ストレッチをする。

9時2分、沢に沿った舗装路を歩きだす。きれいな川の流れにはヤマメらしき魚が泳いでいる。この道は「関東ふれあいの道・杉の木陰の道」延長11.5キロ、養沢鍾乳洞から日の出山、御岳神社への道と看板に書いてある。沢沿いの竹の緑が美しい。

9時9分、上の橋を渡る。

9時23分、右、養沢鍾乳洞經由日の出山への分岐点。立派なトイレがある秩父多摩国立公園・柿平園地便所とある。ここで小休止。

我々は左方向御岳山への林道を進む。

9時40分、舗装路の右側に標識があり狭い山道を登ってゆく。クマに注意の看板がある。いったん舗装路になりまた山道へ入ってゆく。

9時44分、小さな沢を木の橋で渡る。ヒノキ林の斜面に道は九十九折れに続いている。よじ登ると汗が出てくる。木漏れ日が美しい。枝落としの枝があちこちにあり、檜のいい香りが漂っている。

10時52分、御岳から日の出山の尾根に出る。クリーム色の鳥居がある。小休止。

尾根を左に行けば、御岳山、ケーブル御岳駅方面。右の日の出山へ向かう。石段が現れる。岩に食い込んで根を張る桜も。また石段が現れ、大きな岩も目立ってくる。

ひと登りすると右側に公衆トイレ、左に少し戻った位置に東雲山荘の建物がある。また階段状を登ってゆく。

11時24分、日の出山に到着。少し早いがここで昼食とする。風を避けて山



頂から少し下った通路横の陽だまりで落ち着くことにした。

お湯を沸かし、インスタントみそ汁を作る。少しのビールが美味しい。持ち寄りの惣菜はいつも通り豪華に並んだ。

1時4分出発、金毘羅尾根を下り目的の麻生山に向かう。最初は少し急な石段を下りてゆく。すぐに左に三室山、二俣尾、日向和田方面に道が分かれる。丸木の階段状の道をまっすぐ下り進んでゆく。

右、御岳山方面と看板あり。右側に「日の出山・クロモのしみ」と標識があるがどの木か確認できなかった。

奥村さんより3000円、打ち上げの残金317円を会計に入れました。

急な階段状の道を降りて行くと視界が大きく開けた。

現在の収支	
繰越収入	29365 円
	3317 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	31222 円

切手残数	
82円切手	100枚
40円切手	131枚

1時18分、景色のいい分岐点だ。左方向へ行けば滝本経由でつる温泉だ。右の麻生山、金毘羅山方面に進む。開けた南方向には麻生山らしき三角にと

んがった山が尾根の先のほうに見える。少し行くと今度は右後方、御岳山。右斜め前は上養沢バス停と十字路のようになっていいる。尾根を南に進んでゆく。景色がいいのでここで小休止。

檜林の間の防火帯のような尾根をアップダウンをしながら下ってゆく。尾根歩きは気持ちがいい。

1時52分、左、白岩の滝分岐が現れる。麻生山まで290mとある。尾根をまっすぐ進む。ここにもクマ出没注意の看板がある。少し登りになる。

2時5分、目的の麻生山に到着。東側が伐採されて東京方面がよく見えるはずだが春霞で少し霞んでいた。記念撮影の9人がいい笑顔だ。

2時16分、下山開始。来た方向に少し戻ると2分ほどで右にショートカットルートが現れる。急な道なので慎重に降りてゆく。2時24分、正規のルートに合流。杉林の道になると凍っていた

次回は4月16日(日)五日市線武蔵増戸からの弁天山(292m)へ今熊神社です。

ラクダコース 歩行2時間半

武蔵増戸駅から弁天山に向かい、その後今熊神社のミツバツツジを見に行きます。

●何か汁物を作ります。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、ポットにお湯、カップ、食器、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他
申し込みは4月14日(金)までに

集合 4月16日(日)
JR新宿駅(11番線)7:44発
ホリデー快速あきがわ3号
武蔵五日市行き(前から3両目車内)

途中駅発 中野7:49 三鷹7:58
国分寺8:05 立川8:11
西立川8:15 拝島8:25
武蔵増戸 8:44 着

○交通費(片道)
新宿～武蔵五日市 720円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

道が解けて少しぬかるんでいた。

2時47分、岩から染み出た湧水が細く流れていた。試しに飲んでみるとまずまずの味で十分飲める。少し降りると「クリタ麻生平・四季彩の森」の看板があった。このあたりに水と環境の企業のシンボルとして植樹したそう。

3時2分、いったん林道に出てまた右に入ると沢沿いの道に戻る。標識には白岩の滝とある。沢水がきれい。いったん沢を離れて急な道を下ってまた沢の

横に出る。

3時19分、小さいが立派な滝が現れるが白岩の滝ではなかった。

3時24分、少し急な道を降りると、滝壺横に白い岩が目立つ白岩の滝に到着。滝壺にまっすぐ落ちる滝ではなく少し斜めの滑滝だ。水量はそれほど多くはないがなかなか見事な滝だ。

3時29分、木の橋を渡って下る。沢沿いを進み。立派な小さい木製の雨ごい橋を渡る。沢の周辺には野草天ぷらパーティーが出来そうな場所があった。

しばらくして広い未舗装の林道に出る。タルクボ林道というらしい。

3時38分、松尾路傍施設便所を通過。

3時45分、集落の家が見えてくる。

道も舗装になり、3時51分、白岩滝バス停に到着。

3時55分発のバスに乗車。つるつる温泉からのSLの格好をした機関車バスがやってきた。トレイラ形式になっていて運転席は客車とは別れている。客車内には車掌さんがいて切符のやり取りや案内をしている。子供に戻ってちよつ



と楽しい気分だが、あいにくの超満員でラッシュアワーのような混雑。無事武蔵五日市駅に到着。

新宿行きのホリデー快速に乗車。いつもの西口のお店で打ち上げをして終了。

※2017年 夏の予定

7月28日(金) 30日(日)

南アルプス仙丈ヶ岳テント泊

8月19日(土)、20日(日)

群馬・玉原高原バスツアー



